

メタセコイア

(土屋中学校の樹)

＜学校教育目標＞
～夢に向かって～

第12号

令和8年2月2日発行
さいたま市立土屋中学校
さいたま市西区土屋1766-1
TEL 048-622-4611
✉ tsuchiya-j@saitama-city.ed.jp

『土屋冬の陣』

校長 小熊誠

保護者・地域の皆様、嬉しい報告があります。1月19日、文部科学省にて、文部科学大臣表彰をいたいて参りました。学校の主役である生徒にとって土屋がもっと居心地の良い場所となり、もっと大好きになるために、土屋の主権者として、学校の全てのことを自分事として捉え、今の土屋には、何が足りなくて、なにが必要で、何から始めれば良いのかを、考え、実行する、「心染色“こんぱす”」を中心とした土屋独自のキャリア教育の実践を認めていただきました。今後も、甘えることなく、「生徒の生徒による生徒のための学校」「生徒が毎日希望をもって登校し笑顔で活動し満足して下校をする学校」の実現に向け、教職員一同尽力して参ります。皆様、学校を飛び出し、学校の主役から地域の主役へと「メガ進化」する生徒たちを楽しみにしていてください。また、生徒たちは、「土屋冬の陣」真っ盛りでもあります。1・2年生は西区大会、冬季大会、市美術展、サイエンスフェスティバル、7組作品展、吹奏楽のアンサンブルコンテスト西関東大会、そして何より、3年生の私学受験。生徒たちは、それぞれの勝利を勝ち取るため、全力で挑んでいます。途中経過ではありますが、西区大会では、卓球女子団体が優勝、剣道個人では男子が1,2,3位独占、女子が3位、冬季大会では、剣道女子団体が3位、卓球女子団体5位、吹奏楽は、西関東大会でクラリネット8重奏と打楽器8重奏共に金賞を受賞し、クラリネットは、西関東で2校しか選ばれない全国大会出場を勝ち取りました。決戦の日は、3月21日、広島です。3年生も1月22日、本年度の高校入試が開幕しました。延べ170名を超える生徒たちが勝負に挑み、多くの生徒たちが第一希望や、併願合格を決め、2月26日の県公立受験日を万全の状態で迎える準備が整いました。そしてこの後も、1年生は東京校外学習、2年生は館岩自然の教室、3年生は卒業証書授与式と、まだまだ勝負は続きます。生徒たちがどこまで、前に進み、どこまで進化してくれるのか、皆様、生徒たちの活躍に、輝きに御期待ください。

さて今月は、新しく始める3つのことを紹介します。1つ目です。それは、チャイムの変更です。40周年記念合唱コンクールの時に、生徒全員で魂を込めて歌った校歌を、1月28日よりチャイムの代わりとして流します。朝に1番、昼に2番、下校時には1～3番までフルで流します。魂のこもった校歌の歌詞は、言霊となり、学校に地域に刻まれていきます。土屋の新しい伝説の始まりです。2つ目です。それは、表彰や授与等の際の表彰台の使用です。実は土屋には、2020東京オリンピックのときの、「トライアスロン」「マラソンスイミング」「サッカー」で銀メダル授与のときに、実際に使用された表彰台があるのです。「表彰台レガシープロジェクト」の一環としてオリンピック実行委員会からいただいたものです。選手たちの魂が宿った非常に貴重な表彰台です。この表彰台を、生徒たちの表彰と、卒業証書授与の際に使用することにしました。生徒たちが、少しでも、オリンピックの感動を思い出し、この表彰台に立つたことを誇りとして各自の胸に刻んでくれたら幸いです。皆様、どうぞ表彰台に立った生徒たちの輝く笑顔を楽しみにしていてください。

3つ目は、1月13日から始まった全校あいさつ運動です。生徒会の提案により始まりました。全校生徒が当番を決めて、朝昇降口で、あいさつを交わします。気持ちの良い朝の始まりです。皆様どうぞ、元気と幸せを感じに学校に訪れてみてください。お待ちしております。

